



いよいよ12月に入りました。2021年も残すところあと少し。

吹く風も冷たくなり、本格的な冬の訪れを感じるようになりました。日が暮れるのも早くなりましたので、下校時には十分に気をつけて帰るようにしてくださいね。

また、風邪を引かないように暖かい服装・規則正しい生活を心がけましょう。

図書室では現在「読書の秋に贈るこの一冊の本」の企画展示を行っています。

12月6日より冬休みの特別貸出も始まりますので、この機会にぜひ、先生と図書委員のみなさんオススメの本を読んでみてください。

図書室職員Sがおすすめる一冊



『ローマ法王に米を食べさせた男』 高野 誠鮮 著 講談社+α 318.6||タ

「マイナスをプラスに捉える」行動力とアイデアを生かすプログラムに、読んでいるうちに引き込まれ魂が揺さぶられる良書です。

1%の可能性があるなら、まずはやってみることがどれほど大事かということ「気づき」の中から生かし、やる気を持つ人が多く生まれたいことを願いながら、私と同じ僧侶としても実家の寺を継ぐために石川県羽咋市の職員となり、「なぜ色々な事をやり続けるんだ」との問いに「楽しいからですよ」と答え、「嫌なことは長続きしないけど人が喜ぶことは長続きします」と断言できる姿勢に目から鱗が落ちました。オススメの1冊です。



図書室職員Oがおすすめる一冊

『ゴーストハント①：旧校舎階段』

小野 不由美 著 メディアファクトリー 913.6||オ||1

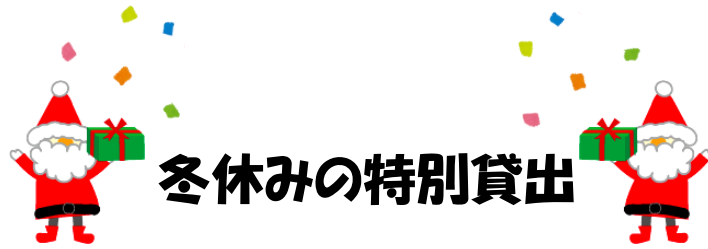
今回紹介する本は、心霊現象が多発する場所で、それが本当に霊の仕業であるのかを科学的に調査するという、新しい切り口のミステリ&ホラー小説です。

主人公の麻衣（まい）が通う高校の旧校舎には、取り壊そうとすると祟りがある・夜に幽霊が出るなど、怪奇な噂が絶えない。麻衣はひよんなことから、校長から心霊調査の依頼を請けてやってきたという、渋谷サイキックリサーチの仕事を手伝うことになるのだが……

中学生の頃に初めてこの本を読んだのですが、赤外線暗視カメラや超高感度カメラなどを駆使して心霊現象の正体を突きとめていく過程に、心霊現象＝除霊とばかり思い込んでいた当時の私には驚きの連続でした。

ぜひ、読んでみてください。





冬休みの特別貸出

2021年12月6日（月）～12月25日（土） 1人8冊まで借りることができます
2022年 1月14日（金） 返却期限

年末年始の図書室開室について

2021年12月21日（火）～12月24日（金） 13:00～17:00 開室
2021年12月25日（土） 12:15～15:00 開室（貸出/返却のみ、自習なし）
2021年12月27日（月）～2022年 1月 5日（水） 閉 室
2022年 1月 6日（木）～ 1月 7日（金） 13:00～17:00 開室

—break time—

事八日（ことようか）★12月と2月8日の晩

家に一つ目小僧がやって来るといわれています。

旧暦では12月8日が上弦の月で、大切な正月を迎える心構えや、正月前後の節目の日として外へ出ず、炊事や針仕事を控え、笑ったり大きな音をたてたり、騒いだりする事もタブーでした。特に子供たちにこれを守らせるために、この晩は一つ目小僧というおそろしい魔物が来て、大眼の目力で家を覗き、履物をしまい忘れると印をつけられて、あとで攫われる、という言い伝えができました。

この日は針供養も行われ、よく使った針を柔らかいお豆腐に刺して休ませ裁縫上手を祈願する風習も生まれました。日本の古き良き時代の風習やいわれの意味を、一つ目小僧が来るといって晩に思いを馳せてみてください。



～新刊本の紹介(抜粋)～



タイトル	著者	出版社	分類番号
透明な螺旋	東野圭吾	文藝春秋	913.6 ト
みとりねこ	有川ひろ	講談社	913.6 ア
月曜日の抹茶カフェ	青山美智子	宝島社	913.6 ア
もっと！「育ちがいい人」だけが知っていること	諏内えみ	ダイヤモンド社	385.9 ス
化け者心中	蟬谷めぐみ	KADOKAWA	913.6 セ
新青春18きっぷの教科書	「旅と鉄道」編集部	天夢人	686.51 タ